



今日のキーワード 『AI』の活用で音声合成技術が飛躍的に向上

昨年末のNHK紅白歌合戦で、国民的歌手として有名な故・美空ひばりさんを人工知能（『AI』）で復活させた「AI美空ひばり」が出演したことが大きな話題となりました。『AI』技術によって、ひばりさんの歌声を現代にのみがえらせ、多くの人に感動を与えるなど、『AI』の音声はもはや人間の声と聞き分けがつかないレベルに達しています。今後『AI』が一段と自然な発話や豊かな表情を手に入れ、活躍の場を大きく広げると期待されます。

ポイント1 『AI』が美空ひばりの歌声を再現

- 昨年末のNHK紅白歌合戦に、「AI美空ひばり」が特別枠で出場し、新曲「あれから」を披露したことが大きな注目を集めました。「AI美空ひばり」は、ディープラーニング（深層学習）の手法を使って、過去の音源や音声ファイルなどから、歌声、歌い方の特徴を分析する“ヤマハ”の『AI』技術が採用され、“NHK”の映像技術などを組み合わせて、ひばりさんの声・姿をステージ上に再現しました。故人の再現には賛否両論あるものの、故人の歌声さえも再現し、多くの人々に感動を与えられるようになるほど『AI』による音声技術は進化しています。

ポイント2 『AI』の音声技術で人手不足対応も

- 速報サービスの“Spectee”が開発したAIアナウンサー「荒木ゆい」は、アナウンサーが実際に読み上げた約10万件のニュース音声を機械学習し、よどみのない日本語でニュース原稿を読み上げます。すでに人間の代替としてテレビ局やラジオ局で採用されており、人手不足や業務の効率化に貢献しています。
- “LINE”は昨年11月、『AI』による、飲食店向けの電話対応サービスの実証実験を始めました。音声認識や音声合成の技術を組み合わせ、電話でかかってきた飲食店の予約を自動でできるサービスです。『AI』が人間のように対話し、飲食店の電話対応の負担を減らすと共に、消費者が簡単に予約できるサービスの提供を目指しています。



今後の展開 『AI』による音声技術はさらなる普及へ

- 上記事例のように、『AI』の活用により音声合成技術が急速に発展し、様々な分野で実用化が進んでいます。『AI』の音声はもはや人間の声と聞き分けがつかないレベルになっているほか、「喜び」や「悲しみ」といった主要な感情を声で表現できるようになってきています。今後スマートスピーカーなどで利用者はニーズや場面に応じて、『AI』の音声を選択できるようになるでしょう。また、“LINE”の電話対応サービスのように音声対応が完全自動化されるケースも増えてくると考えられます。人間の業務を『AI』が代替するシステムは業界問わず導入され、今後も人手不足解消に大きく貢献すると期待されます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも チェック!

2019年11月 8日 モノからコト、トキへと広がる身近な『AI』
2019年 9月24日 災害対策・防災分野で『AI』の活用が進む

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。